

皆さんこんにちは。こちらでは極寒の時期が過ぎ去り、思わず目をつぶるほど強い日差しの暖かい日が続くようになってきました。SNSで先輩方の卒業しているところを目にして時間の進むはやさと、自分が高校2年生になるのだという現実に少し焦りを感じています。

さて今月も2月に起こった出来事について話していきたいと思います。

### 1) 期末試験と新学期

今月は二学期の期末試験と新学期が始まりました。こちらの学校ではテストが成績の大きな割合を占めます。また、見慣れない単語の並びを覚えなくてはならないので苦戦しました。思わぬテスト勉強の弊害となったのは数学です。こちらの数学ではグラフがかけるような高度な電卓を使って進めていくのですが、機能がありすぎて使いこなせないのです。電卓を使わないと答えが出ないような問題でとても苦戦しました。

新学期になり、“友達と離れる”ことにもなりました。というのは学期ごとに時間割が違うので同じコマにいた友達に授業で会えなくなってしまうのです。二学期の授業中に親友と呼べるような友達ができただけで毎日必ず会えるという保証がないのは悲しいです。

### 2) ミュージカル

私は冬季、ミュージカル役者として演劇に携わっています。3月末に公演があるのでちょうど今練習に熱が入ってきているところです。アメリカの学校ではミュージカルというのは学校の一大イベントのようで、とても設備や道具、衣装や音楽が豪華で驚いています。学校が所有している大きな衣装ルームで衣装さんと自分でコスチュームをえらんだり、イヤモニをつけたり、背景がプロジェクションマッピングだったり、衝撃的でした。一番の衝撃だったのが、ステージの床下に吹奏楽の人たちがいて、歌に合わせて生演奏だったことです。このような素敵な環境で経験できることに感謝し、お客さんを満足させられる舞台になるように私も頑張っていきたいです。

### 3) ちょっと壁にぶつかった瞬間

新学期で新しい環境になって、授業内容も難しくなってきたり少し英語の壁にもぶつかりました。色々な考え方の人がいるのでしょうがないことなのですが、私の英語の発音や文法の間違いをからかう人もいます。また、近所を歩いていると通りすがりの人に、差別的な言動が見られることもあります。ほとんどの人はごくごく普通に、また英語に詰まっても優しく接してくれるのですが、やはりちょっと傷つきます。しかし、学校ではそれらの意識を改善し、色々な国籍の人を尊重できるようにする取り組みもあります。ワールドカルチャーという授業や、マルチカルチャークラブという多文化を学ぶ活動です。色々な国籍を持った生徒が自分の国のことをプレゼンして理解を深めるというものです。友達の中では私が日本出身なのを知らない生徒もいたのですが、プレゼンをして日本に興味を持ってくれた子が話しかけて来たりして、“理解”の有無でこんなにも変わるのかと驚きました。